

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

●会長 吉田 嘉昭

●幹事 松岡 泰光


 No.1759 令和 04 年 01 月 19 日 第 25 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「我等の生業」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■来訪者紹介 (会長エレクト 山田公也)

熊本南RC 内田泰生 君 (オンライン)
 米山奨学生
 ティティコンサコルウオング,
 サクピシット君



■会長の時間 (直前会長 松本一也)

「ノブレス・オブリージュ」

ノブレス・オブリージュという言葉思い出しました。
 私は、10年くらい前に、この言葉に出会い非常に考えさせられました。しかし、日常に流されているうちに、すっかり忘れてしまっていました。

それが、先週の例会で、潮谷会員の「富の再分配に吹く新風」を聞き、思い出しました。

ノブレス・オブリージュというのは、フランス語です。直訳すれば「高い身分に伴う義務」つまり、高い身分に生まれついた人間には、奉仕活動、慈善事業、軍務に献身する義務があるという思想です。

高い身分に生まれついた人間は、生まれつき優位な立場にあり、色々な条件に恵まれているのだから、そのぶん社会に貢献すべき道徳的義務を負っているという考え方です。ヨーロッパでは、皇族、貴族階級は戦争が起きれば、先頭に立って戦い、戦死者が多かったということです。

また、上流階級の婦人たちは、バザー、炊き出しなどで、生まれ

ない人々に奉仕しました。

このような思想はキリスト教が原点にあるように感じます。

こんな例は、日本にもあります。

矢部の白糸台地は、周囲を流れる川が削り取った、深い谷に囲まれています。水面は台地から 20~30メートルも低く、現代と違いポンプなどはなく、台地に水を引くことが出来ず、粟や稗のような雑穀しか取れませんでした。そこで、細々と棚田を作り、わずかな湧水を棚田に循環させていました。

このような広い平坦な台地に水を通して、米を作ることが農民の夢でした。

そこで、矢部の庄屋を束ねる惣庄屋であった布田保之助は、アーチ式水道橋を作り、白糸台地に水を引くことを考えました。これが通潤橋です。水路の長さ 126m、橋の長さ 76 m、橋の幅 6.3m、橋の高さ 20、2m です。約 6km 離れた笹原川の上流から水を引き、水路の総延長約 30km、灌漑面積は約 100 ha にも及び、国の重要文化財に指定されています。

工事費は、現在の金額に換算し 40 億円ほど掛かったと言われ、布田保之助は、藩から許されていた地元の年貢の蓄財と、藩からの借入金を、工事費用に充てましたが、足りない分は私財を投げうって工事を完成させたと言われています。

他にも、名主が小作人の優秀な子供に、将来、帰ってきて村の為に尽くしてほしいと、東京の大学に行く資金を援助したという話もあります。

経済学者であり田坂塾塾長でもある、田坂広志氏は、ノブレス・オブリージュは「高貴な人間が自覚すべき義務」から「恵まれた人間が覚すべき義務」になっていくだろうと述べています。

言い換えれば、現在「富める者は公共の利益のために私財を還元し、恵まれない人々に再分配すべし」という形で受け継がれてきているようです。皆さんご存知のとおり、ロータリアンでもあるビル・ゲイツ氏は、ポリオ撲滅の為に 2,500 億円もの寄付をしました。

ノブレス・オブリージュという考え方は、ロータリークラブの奉仕の精神にも通じるものがあるように思えます。私は、富める者でもなく、また、恵まれた人間かどうか分かりませんが、自分なりに、ノブレス・オブリージュを実践出来たらと思っています。

■幹事報告 (幹事 松岡泰光)

■来信案内

1)

大森克磨 ガバナー、江河好洋 米山記念奨学会部門長より、米山



学友里帰り（ホームカミング制度）について。（県外、国外で活躍する米山学友を地区行事に無料で招く制度＝地区大会に活用）
申請期限・・・2022年2月15日

2)
堀川貴史 ガバナーエレクト、瀧満 次年度地区研修リーダー、
作守順子 次年度地区幹事より、
2022～2023 年度 会長エレクト研修セミナー（PETS）の案内。
日時 2022年3月12日（土）～13日（日）
場所 熊本城ホール／ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

3)
大分臨海RCより、創立50周年記念講演会の案内。
日時 2022年5月15日（日）14時～
場所 iichiko 音の泉ホール
講師 小児外科医 /
特定非営利活動法人ジャパンハート最高顧問 吉岡英人 先生
演台 目の前のひとりの生まれてきてよかったを、日本の医療から
～思いつなげサステナブルな世界をつくる～

■クラブより

1)
本日の例会終了後に、第7回定例理事会を開催いたします。

■今後の行事

		地区補助金セミナー	Zoomにて開催	Zoomにて開催
2022	01/29（土）	杉本整哉、櫻井一隆（熊本東南RAC）		
	03/12（土） ～13（日）	会長エレクト研修セミナー（PETS）	熊本県 熊本市	熊本城ホール／ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 新着

■ロータリー情報の時間

（ロータリー情報担当 白石 繁）

先日、パソコンでサイトの閲覧中に、突然、警告音が鳴り出し、「危険です。ウイルスのトロイの木馬に感染しています」と警告表示が表れたまま消えなくなりました。あわてて画面に記載されたマイクロソフトの電話番号に連絡すると「ウイルスに侵されていると思われます。調べてみます。もしウイルスがあれば無料で除去します。今後このようなことが起きないように新たなウイルスソフトを購入されたほうが良い」と言われました。その瞬間は本当だと信じ込み、購入しようとコンビニに65,000円分のプリペイドカードを買いに行こうとしましたら、家族から「それは詐欺」と教えられ踏みとどまることができました。危うくまんまと引っ掛るところでした。今まで自分は大丈夫と思っていた「ネット詐欺」にまさか騙されるとは・・・。あとで考えてみるとおかしいところいっぱいあったのですが、その時は全く気付きませんでした。実に巧妙です。みなさんもウイルス対策ソフトを入れておくことは勿論ですが、直ぐにお金を請求してくる話にはご注意下さい。

■委員会報告

（青少年奉仕担当 宮川義行）



1月18日アクト第1例会が中央公民館で開催されました。今年から19時開催となります。例会内容はマンダラチャート作成。大谷翔平が作った目標達成シートを参考に全員で自分が成し遂げたい事と、そのために何をすればいいかを書き出します。やってみてとてもためになると思いました。参加者は全員で10名。櫻井会長、宮田会員、松村会員、中上会員、雪田会員、新会員和泉会員、米山奨学生のサク君、ロータリーからは山本会員と私の2人でした。1月28日はコロナの状況なので新年会は取り止め、2月5日の子飼商店街の夜市を主催する和泉会員の卓話になります。子飼商店街の夜市にはアクトとしても参加することになります。お時間のある方はぜひご参加されてください。

■出席報告（出席・プログラム担当 松田和成）

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率（%）
01月07日	43 (免4) 39	23	5	28	71.79
01月19日	44 (免2) 42	32 (Zoom6)			76.19

☆新入会

01月12日 片岡貞志

☆出席免除

01月07日 住江正治 島村徹男
佐野 茂 古庄浩二
01月19日 住江正治 島村徹男



☆欠席者

01月07日（11名）
古田哲朗 川崎直樹 前田昭博 小野川善久 白石 繁 堤 勝也
武末直大 山本浩之 山坂哲生 吉永陽三 矢野敬之

■スマイル

（親睦・スマイル担当 草村安宏）



◎渡邊俊一郎 5,000円
前回の例会で新会員卓話させていただき、ありがとうございました。片岡さん卓話ががんばって下さい。



◎松田和成 3,000円
片岡会員の卓話楽しみにしています。



◎小畑成司 2,000円
先週は誕生お祝いありがとうございました。61歳になりました。ロータリークラブに入会したのが2002年でしたのでロータリー歴19年となりました。オミクロン株が猛威を振る舞い1月も2月も旅行は全てキャンセルになってしまいました。やがて2年になります。会社も大変で

**ウェブサイト閲覧中の
ニセの警告音にだまされないで**

すが、バブルが来ることを願ってもうひと踏ん張りしたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。



◎宮川義行 1,000円

寒くなりました。コロナも増えました。小畑さんの悲鳴が聞こえそうです。「人生は苦なり」苦しみをとことん味わって悟りを開かれたお釈迦さんの言葉です。人生は苦しくて当たり前。その中に喜びや楽しみがあればラッキーと思えば、少しは楽に生きていけるのではないかと思います。街が急に淋しくなりました。早くコロナの波が収まるのを願うばかりです。



◎山田公也 1,000円

片岡会員の卓話、楽しみにしています。



◎草村安宏 1,000円

結婚記念日の花ありがとうございました。今日で36年になります。×が付かずに仲良く楽しくすごしております。

■新会員卓話 (新会員 片岡貞志)

◎祖父は、三角町の出身で、満州の警察機関や、熊本銀行の前身で勤務や有明自動車学校の経営などをしておりましたが、戦後まもなく、白山の交差点(南西角)で、不動産業を創業しました。

祖父は、銀行で不動産のノウハウを学び、熊本県第一号の「宅地建物取引員(現在の「宅地建物取引士」)」となります。会社の創業は、キリの良い数字で、「昭和25(1950)年」創業と表示しています。

白山から水道町のデイリーストアの位置に移転、さらに昭和49年頃に大甲橋西際に移転し、現在に至っております。

◎父が東京の大学に在学中、チャキチャキの江戸っ子である母とコンパで知り合い、大学卒業と同時に熊本に連れ帰って結婚したそうです。なお、父の友人が母に好意を寄せていたものの、母は父に好意を寄せていた!との父の話がありました。ちなみに、その友人さんは、その後、日本KF社の副社長などを歴任された人物だったそうです。

◎私は、そんな両親の長男として、昭和49年4月4日(東南RCの創立記念日の10年前)に誕生しました。九州学院ミドリ幼稚園、城東小学校と順調に成長し、小学校の6年間、北署で少年剣道を習いまして警察との関わりがはじまりました。

◎九州学院の中学校に進学して、1年生の時に警察のご厄介になり、初めて取調室に入れられ、剣道を習ったことのある少年担当の刑事に、ボコボコに気合いを注入されました。この経験から漠然とですが、少年課の警察官を志すこととなります。

※13歳でしたので、「刑事未成年者」として、補導扱いで済みました!学年では、第1号の「学校長注意」だったと記憶しています。

どうか高校に進学して、勉強せずに大学に行けるぞ!とのOBから

の勧誘に負けてボクシング部に入りました。おそらく当時の日本一厳しい練習のおかげもあり、2年時、3年時と県大会、九州大会を制して、インターハイと国体の県代表となりまして、その結果、全国ランキングに2年連続で入ることが出来ました。

※階級は、フェザー級(57~60kg)で、サウスポーでした。ちなみに、現在は、80数キロです。

◎おかげ様で、有名大学などから進学のお誘いがありましたが、ボクシングを続けることへの影響など、健康面が心配で、ボクシングの推薦は謹んでお断りし、通常の試験でどうにか福岡市内の大学に進学することになりました。

◎大学に3年間在籍しましたが、どうやら4年で卒業は難しい状況となり、目標としていた警察官になるため、大学を中退して警察官採用試験へとシフトします。父に警察官の友人が多かったことも警察を身近に感じる要因でした。

◎勤務地については、地元の熊本県警も考えましたが、全く知り合いのいない、しかも面白そうなイメージがある「大阪府警」を受験することにして、平成11年に念願の警察官として採用されました。

◎高卒として10ヶ月間、警察学校でトコトン鍛えられまして、ある種の洗脳を受けながら過酷な軟禁生活を耐え抜き、卒業と同時に通天閣のある「浪速警察署」に配属され、警察官としてのスタートをきりました。

◎まずは、交番のお巡りさん、次に近畿管区の機動隊、留置場の看守と部署が替り、専務員(刑事など)の試験を受けて、私服勤務(警備課)となりました。勤務した所属は、①浪速署②東署③枚方署④天満署⑤吹田署⑥府警本部警備部です。

◎家業引継ぎのため、令和3年3月末日をもって、大阪府警を退職し、郷里熊本に戻りましたが、色々ありまして、現在は独身です。

◎座右の銘は、「敬天愛人」

◎これといった趣味はありませんが、お酒は、嗜む程度で飲みますので、平穩になれば皆さんとご一緒したいです。

以上が自己紹介でございます。今後ともよろしくお祈りいたします。



街の新たな看板でロータリーをアピール

投稿日: 12月20, 2021

By: エバ・パーマー、第7280地区ガバナー補佐
(米国ペンシルバニア州)



私たちのクラブは、地域に根差した活動を実施し、ロータリーについて広く人びとに伝えることにコミットしています。クラブの戦略計画も含め、活動のすべてにこの信念が組み込まれています。ですから、私たちが

住む街オイル・シティが街の入り口に立つ看板を一新しようと考えているという話を聞いた時、私はすぐにその機会に飛びつきました。街の美化や観光支援の一環となつただけでなく、ロータリーを推進する機会になると考えたのです。

オイル・シティには三つの幹線道路があるため、三つすべての看板を一新する必要がありました。また、看板周辺の美化も行ったため、各所につき3500米ドルの費用がかかりました。第7280地区では、ロータリーのブランド指針に沿ってロゴが正しく使用され、プロジェクトが地元の新聞などで対外的に広報されているという条件を満たしていれば、地区補助金を申請できます。このため、必要経費の半分はクラブが調達し、残りは地区補助金で賄うことができました。

看板には、ロータリーの歯車だけでなく、クラブ名も大きく表示したいと考えました。そこで、ブランドリソースセンターでロゴの正しい使用方法を確認し、ロゴとクラブ名の配置が仕様に沿っていることを確かめました。

今回のプロジェクトは地元の小規模ビジネスの支援にもつながりました。ある地元の会社がこの看板を制作し、設置したからです。いくつかデザインのオプションを提示してもらい、最終的なデザインを選ぶにあたっては、全クラブ会員の意見を取り入れました。また、看板の周りの美化については、地元の造園業者をお願いして、季節の花を植えてもらいました。

看板の設置が完了した後、この活動についてクラブのウェブサイトとソーシャルメディアで情報を拡散しました。さらに、地元の新聞がこの話題について記事を掲載したほか、地元商工会議所もウェブサイトとソーシャルメディアで情報を発信してくれました。さらに、地元の公共放送テレビ局 (PBS / NPR) が制作中の「Our Town: More Stories from Oil City」(わが街オイル・シティより) という番組の中でこの看板が紹介されました。

新しく美しいこの看板は、街への訪問者を温かく迎え入れています。何よりも素晴らしいのは、その看板に私たちのクラブのロゴが、みんなの目につくように誇らしげに掲げられているということです。ブランドリソースセンターのロゴのテンプレートを使い、ロータリーのブランドガイドラインに沿ったクラブ名入りロゴを作成しましょう。また、ロータリーのロゴ入り商品や標識等を注文する際には、免許取得業者をご利用ください。

【寄稿者プロフィール】エバ・パーマー (Eva Palmer)

2014年にロータリー入会。第7280地区ガバナー補佐、Oil City ロータリークラブ元会長

